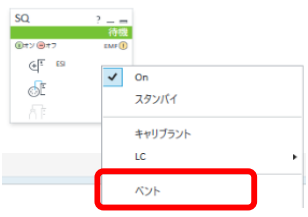


Agilent LC/MSD iQ

大気開放（ベント）手順

① GUIから「ベント」を選択します。



※機器ステータス画面からスタンバイ時の真空度をメモしておくことを推奨します

アームウェアバージョン	D.7/1.1
低真空(Torr)	1.57E+0
高真空(Torr)	3.62E-6
ターボ速度(%)	100.0

②ターボ速度が0%付近になり、ロータリポンプが停止するまで待ちます（停止後、内部圧力や温度が、徐々に大気圧、室温に戻るまで、30分から1時間程度待つことを推奨します）。

③ソフトウェアを閉じます。

④ iQの電源スイッチをOFFにします。

⑤ロータリーポンプのスイッチをO側のOFFにします。右写真参照。

⑥iQの電源ケーブルを、装置背面で抜きます。または壁のコンセントから抜きます。

⑦最後に、窒素ガス発生装置のスイッチをOFFにします。



Agilent LC/MSD iQ

真空排気（ポンプダウン）手順

- ①最初に、窒素ガス発生装置のスイッチをONにします。30分以上暖機運転します。
- ②ロータリーポンプのスイッチがOFFであることを確認します。
その後、iQの電源ケーブルを壁のコンセントと装置背面へ挿します。
- ③iQ本体の電源スイッチをONにします。
- ④続いてロータリーポンプのスイッチをONにします。
- ⑤バルブの音が2回した後、ソフトウェアを立ち上げます。
- ⑥数時間後、真空度を確認します。
- ⑦ チェックチューンが合格することを確認します。



※機器ステータス画面、スタンバイ時の真空度がバント前の値に近づいていることを確認します。

アームワエノバージョン	5.71.1
低真空(Torr)	1.57E+0
高真空(Torr)	3.62E-6
ターボ速度(%)	100.0

